

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A：入体くつ運動【男女両性】 【知識及び技能】体はくじの運動では、ラジオ体操などの手帳な運動を行い、心と体はいかに影響しあうか考えることと他者の理解を促す。仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。実用面において「運動の楽しさや面白さを伝えること、健康の維持増進や安全のために適切な行動を行うこと」を通じて、互いに助け合い敬愛しあうことができる。	・ラジオ体操 ・50m、1000m走、1500m走 ・アスプレイク ・一人1台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】知識では、定期的・計画的に運動を継続することは、心の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があること。運動とは、仲間と協力して課題を達成することである。仲間とともに休むべき状況について互いの健康の方向や姿勢の仕方を覚えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】健康や安全を安心を確保するために、体力や身体能力に応じた活動や運動について思いをめぐらせることである。多くの活動や運動の中から自分に合った活動を選択し、仲間とともに休むべき状況について互いの健康の方向や姿勢の仕方を覚えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に自主的に取り組み、仲間と積極的に交流し合った上で活動したうえで、互いに助け合い敬愛しあうことができるようになる。	○	○	○	5
	B：器械体操【男子】 【知識及び技能】回転系や技巧系の基本的な技を滑らかに安定して行うことができるとともに、柔軟な発展を行うことができそれらを意識して演技することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたとを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】器械体操に主体的に取り組むとともに、パフォーマンスを大にしようとするこ、作戦などについての話合いに貢献しようとするこ、互いに助け合い敬愛しあうこととなること、一人一人の意に応じた課題や挑戦を大切にしようとするこなどや健康・安全を確保することができようになる。	・前転、後転、開脚前転、開脚後転、側転、ロンドート等の基本的な技 ・倒立、倒立前転、ハンドスプリング、バク転等の技 ・一人1台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】知識では、自ら動きや動作の動きや分析するには、自己観察と他者観察の方法があることと技と関連させた補助運動や部分練習を入れることにより、結果として技術的な成長ができること。技術では、体が硬い状態に陥らないで柔軟さで両肩をひねることで腕の柔軟性を高めることが出来る。また、基本動作の正確な一連の流れから応答させて回ることや補助運動との調整、支持の仕方など動きの動きを覚えていくことができる。 【思考力、判断力、表現力等】選んだ技法によって必要とする動作が自分で取り組める運動を選ぶことも仲間グループ分けて役割に関する成果や習得したポイントについて自分の活動を振り返ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】器械体操の学習に自主的に取り組み、仲間と積極的に交流し合った上で活動し、合ったりして、互いに助け合い敬愛しあうことができるようになる。	○	○	○	8
	C：ゴール型 バasketボール【女子】※人間と社会と授業を分けている体育のため、通年を通して同じ授業を4コース 【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した技によって定めた場所までよく成功させることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】競技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたとを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】競技に自主的に取り組みとともに、フットワークを大にしようとするこ、作戦などについての話合いに貢献しようとするこ、互いに助け合い敬愛しあうこととなること、一人一人の意に応じたプレイなどを大切にしようとするこ、互いに助け合い敬愛しあうこととなることなどや健康・安全を確保することができようになる。	・基本的なパス ・ドリブル ・レイアップシュート ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】知識では、競技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ゴール前に近い空間を作りだすために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。 【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受けたりする場面でも、よりよいやり方や行ないについて、自分の活動を振り返ることや技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、考える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとすること作戦などについての話合いに貢献しようとするこである。	○	○	○	8
	D：ネット型 バレーボール【男子】※人間と社会と授業を分けている体育のため、通年を通して同じ授業を4コース 【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した技によって定めた場所までよく成功させることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】競技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたとを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】競技に自主的に取り組みとともに、フットワークを大にしようとするこ、作戦などについての話合いに貢献しようとするこ、互いに助け合い敬愛しあうこととなること、一人一人の意に応じたプレイなどを大切にしようとするこ、互いに助け合い敬愛しあうこととなることなどや健康・安全を確保することができようになる。	・基本的なパス ・スパイク ・サブ ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】知識では、競技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ゴール前に近い空間を作りだすために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。 【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受けたりする場面でも、よりよいやり方や行ないについて、自分の活動を振り返ることや技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、考える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとすること作戦などについての話合いに貢献しようとするこである。	○	○	○	8
	E：ネット型 バレーボール【女子】※人間と社会と授業を分けている体育のため、通年を通して同じ授業を4コース 【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した技によって定めた場所までよく成功させることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】競技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたとを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】競技に自主的に取り組みとともに、フットワークを大にしようとするこ、作戦などについての話合いに貢献しようとするこ、互いに助け合い敬愛しあうこととなること、一人一人の意に応じたプレイなどを大切にしようとするこ、互いに助け合い敬愛しあうこととなることなどや健康・安全を確保することができようになる。	・基本的なパス ・ドリブル ・レイアップシュート ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】知識では、競技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ゴール前に近い空間を作りだすために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。 【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受けたりする場面でも、よりよいやり方や行ないについて、自分の活動を振り返ることや技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、考える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとすること作戦などについての話合いに貢献しようとするこである。	○	○	○	8
2 学 期	F：ネット型 バレーボール【男子】※人間と社会と授業を分けている体育のため、通年を通して同じ授業を4コース 【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した技によって定めた場所までよく成功させることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】競技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたとを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】競技に自主的に取り組みとともに、フットワークを大にしようとするこ、作戦などについての話合いに貢献しようとするこ、互いに助け合い敬愛しあうこととなること、一人一人の意に応じたプレイなどを大切にしようとするこ、互いに助け合い敬愛しあうこととなることなどや健康・安全を確保することができようになる。	・基本的なパス ・スパイク ・サブ ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】知識では、競技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ゴール前に近い空間を作りだすために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。 【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受けたりする場面でも、よりよいやり方や行ないについて、自分の活動を振り返ることや技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、考える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとすること作戦などについての話合いに貢献しようとするこである。	○	○	○	8
	G：水泳【男女両性】 【知識及び技能】距離向かい泳ぎや自由泳やクロール、技術の名前ややり方、体の力の高い方、運動能力の高さを発揮するとともに、効果的な泳ぎをできるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたとを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】泳法に自主的に取り組みとともに、勝敗だけでなく冷静に受けるため、ルールやマナーを大切にしようとするこ、自分の責任をしっかりと果たすこと、一人一人の意に応じた課題や挑戦を大切にしようとするこなどや、泳法の事故防止に関する心得を遵守することや健康・安全を確保することができようになる。	・クールル ・平泳ぎ ・救命の方法(着衣泳等) ・一人1台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】知識では、泳法の各型について泳ぐ技術の名前があり、それぞれの技術には、効果的に泳ぐためのポイントがあること、技術では、クールルでは、肘を揃って腕全体で水を划き、加速するより早く進むことができる。平泳ぎは、手を前方大きく伸ばして後に引く。加減をきいて内側に曲がる。抵抗を減らすために早く手を前に出すこととローリングの動きをするところである。 【思考力、判断力、表現力等】選んだ泳法によって、自己や仲間の泳ぎを分析して、良い泳ぎや泳法を模倣することができる。また、水泳の学習成果を踏まえて自己に適した「する、みる、考える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】水泳の学習に自主的に取り組み、一人一人の意に応じた課題や挑戦を大切にしようとすること水泳の事故防止の心得を遵守し、危険の手続きをしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	4
	H：水泳【男女両性】 【知識及び技能】距離向かい泳ぎや自由泳やクロール、技術の名前ややり方、体の力の高い方、運動能力の高さを発揮するとともに、効果的な泳ぎをできるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたとを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】泳法に自主的に取り組みとともに、勝敗だけでなく冷静に受けるため、ルールやマナーを大切にしようとするこ、自分の責任をしっかりと果たすこと、一人一人の意に応じた課題や挑戦を大切にしようとするこなどや、泳法の事故防止に関する心得を遵守することや健康・安全を確保することができようになる。	・クールル ・平泳ぎ ・救命の方法(着衣泳等) ・一人1台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価標準とする。 【知識及び技能】知識では、泳法の各型について泳ぐ技術の名前があり、それぞれの技術には、効果的に泳ぐためのポイントがあること、技術では、クールルでは、肘を揃って腕全体で水を划き、加速するより早く進むことができる。平泳ぎは、手を前方大きく伸ばして後に引く。加減をきいて内側に曲がる。抵抗を減らすために早く手を前に出すこととローリングの動きをするところである。 【思考力、判断力、表現力等】選んだ泳法によって、自己や仲間の泳ぎを分析して、良い泳ぎや泳法を模倣することができる。また、水泳の学習成果を踏まえて自己に適した「する、みる、考える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】水泳の学習に自主的に取り組み、一人一人の意に応じた課題や挑戦を大切にしようとすること水泳の事故防止の心得を遵守し、危険の手続きをしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	4

[illegible]

D：ネット型　バレーボール【男子】※人間と社会と授業を分けている体育のため、通年を通して同じ授業を4コース 【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの問題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。仲間などについての話合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基本的なパス ・スパイク ・サーブ ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用　等	次の事項を身に付けることができることを評価指標とする。 【知識及び技能】知識では、球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返ることや球技の学習成果を踏まえて、自己に達した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。仲間などについての話合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	○	○	○	8
E：バスボール型　キックベース【女子】※人間と社会と授業を分けている体育のため、通年を通して同じ授業を4コース 【知識及び技能】状況に応じた走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】走塁にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の問題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組む方を工夫するとともに自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合おうとすることなどや健康・安全を確保することができるようにする。	・基本的なキャッチボール ・捕球の仕方 ・キック ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用　等	次の事項を身に付けることができることを評価指標とする。 【知識及び技能】知識では、球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールの高さやコースなどにタイミングを合わせてボールをとらえることができる。 【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返ることや作戦などの話合いの場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えることができ、球技の学習成果を踏まえて、自己に達した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。仲間などについての話合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合おうとすることなどや健康・安全を確保することができるようにする。	○	○	○	8
F：ネット型　卓球【女子】※人間と社会と授業を分けている体育のため、通年を通して同じ授業を4コース 【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの問題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。仲間などについての話合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基本的な打ち方 ・シングルとダブルスのルールの違い ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用　等	次の事項を身に付けることができることを評価指標とする。 【知識及び技能】知識では、球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返ることや球技の学習成果を踏まえて、自己に達した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。仲間などについての話合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合おうとすることなどや健康・安全を確保することができるようにする。	○	○	○	8
						合計
						105